

あそぶ、まなぶ、いきる。

山と溪谷社

An impress Group Company

各 位

2025 年 10 月 17 日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

吸血ヒルの襲撃、飛行機の墜落、砂漠の熱波——未知のチョウを追う超破天荒な探検記 『アゲハ蝶の白地図』発刊

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、ヤマケイ文庫『アゲハ蝶の白地図 知られざる怪蝶の謎を追う』（五十嵐邁：著）を発刊しました。

「幻の蝶を追い求めた会社員の命がけのクレイジージャーニー。
夢中になるものが見つかれば、人生が楽しくなる。」
藤井一至氏（『大地の五億年』著者）イチ推し！



会社員のかたわら大好きな蝶の生態を探るため、世界の未踏の地を訪れて調査・採集を行った稀代の研究者がいました。その名は、五十嵐邁。

インドの山で遭難しかけて水牛のフンが浮いた泥水を飲む、イラクでスパイと疑われる、巨大な水たまりにいつせいに発生する魚・鳥・トンボの不思議、宝石箱のようなシジミチョウの産地でイラン人の怒号を浴びる、ラオスで生死をさまよった謎の疫病——。

未知のチョウを追い求めて世界の国々を探検した記録、空前絶後のフィールドワークエッセイです。

2008 年に世界文化社から発刊された同名書籍を再編集のうえ、装い新たに復刊・文庫化しました。

怪蝶テングアゲハのこと

世界には二〇〇種あまりのアゲハチョウを産するが、テングアゲハ *Tropatulus* *imperialis* はどうも異様な形態と性質を持った蝶はいない。まず翅の形であるが、前翅は鋭く尖っており、後翅には剣のように長く鋭い尾状突起がある。雌の翅は雄よりもはるかに大きく幅が広く、後翅には長短一本の尾状突起があり豪華極まりない。雌雄ともに緑色の鱗粉をまぶした決くも高貴な彩りである。なによりもこの種の大きな特徴は、頭部に尖った緑色の突起が存在することで、和名の「テング」も鼻が高いことに由来し、学名の *Tropatulus* も同じように鼻部が巨大であることを意味する。なお英名のカイザー・イ・ヒンド *Kaiser-i-Hind* は「インドの王様」という意味である。産地は西はネパールからインド北部、ミャンマー、中国西部で、標高二〇〇〇メートル以上の深い樹林に生息している。雄は太陽が照らないと活動せず、じっと静止している。そのような場合、指で触っても死んだように動かない。しかしいったん陽が照ると猛スピードで狂ったように飛び回る。雌は雄とまったく性質が異なり、曇りでも小



テングアゲハ *Tropatulus imperialis*
雄：1986年6月2日、北インド産。
飛翔はきわめて敏速。

テングアゲハ 雌：1986年5月29日、北インド産。
雄より大きい。飛翔は鈍重。

サファイアアリシジミ
Lyanda bellargus
雄：レバノン産。



エルブルツの高嶺。



黒点のまわりが白く残されている。ヨーロッパに広く分布するサファイアアリシジミ *Lyanda bellargus* だ。この個体はすばらしく大きい。そのほかに少ないながら真紅のクジャク・ヘンシジミ *Thersamon thesson* が現われる。夕陽を受けて燦然と赤く輝く翅を開いてイネ科の葉上に静止している姿には思わず胸を躍らされた。砂漠性の山ではいくらがなんぼっても一日にせいぜい二〇〜三〇頭ぐらいしか採れないのだが、このシジミチョウは数多い種類も豊富で、それぞれの生態をじっくり観察できたうえに標本も多数得られたので欲求不満はどうやら解消した。

怒るイラン人

すっかり悦に入って採集していると向こうの大きな建物から二人のイラン人が飛び出してきた。たいへんな速さで五〇メートルほど走って私の前に立つと、甲高い声でどなりはじめた。見ると手に大きな包丁を握っており、前掛けは赤い血で染まっている。ギョツとして立ち上ると、二人はさらに近づいてきて大声で叫ぶ。多分イラン語なのだろう、一言も分からない。私がボカンと二人の顔を見ていると、ただ「プロヒビター」と聞こえたような気がした。英語の *Prohibit*（禁止する）に相当



1967年2月16日、私の搭乗機がスラウェシのメナド空港に墜落した。

れながら、ただ「あの好人物のヨーさんは死んでしまったのだろうか。よいオジだったのに。ランゴワンの宅へ泊まりがけで蝶を探りにきてくれと言ってくれていたのに。私のノートに住所を書いてくれたばかりだったのに。私のあげたピースをうまそうに吸っていたのに」と思いつづけた。私の頬を伝わる涙はなぜか、ゆきずりの異国の人の人柄を惜しむ哀惜のものであった。夕方、ミナサ州副知事のタンバヨーン宅に疲れた身体を休めていると、雨の中をなにも知らない原田さんがジープで帰ってきた。そして私がいきさつを聞くと「えっ、本当ですか」と言ったりたちまち顔が蒼白になり、むき出しの日焼けした腕に鳥肌が立つのが見えた。夜、ベッドに入るとまたしても昼間の光景がありありと脳裏に浮かぶ。自分はあの事故にはまったく関係ないのだ、死ぬ可能性などまったくなかったのだ、と一生懸命自分を安心せよと頭の中で試みる。それでも恐怖はまた襲ってくる。そのくり返してどうしても眠れなかった。それほど死は怖いものだということが分かった。翌朝、目をさました私はベッドのなかで体を伸ばした。たちまち昨日の恐ろしい出来事が頭の中で鮮明な画像となって浮かびはじめた。

〇もくじ

第一章 蝶の魔境・インド

怪蝶テングアゲハのこと／熱心な英国人研究家／マハデオポカリにテングアゲハを見ず／ネパールから撤退
／ダーズリンへ／イスラエル兵士の話

第二章 ベンゲットの道・フィリピン

ベンゲットの道／美しい新種の発見／日本軍の認識票

第三章 熱砂の国・イラク

バスラへ／砂漠は死んでいる／花の北国／バグダッドの街角で／シロタイスアゲハを採る／イラク人の家／異
形アゲハの谷／オオカミの出る責め苦に耐えて／ついに黄色い皇帝を採る／また起きた事故／みじめな敗退
／宮殿にすむシロチョウ／砂漠のシロチョウに挑む／黄色い皇帝を手／珍蝶チビマドタテハの幼虫を発見

第四章 エルブルツの高峰・イラン

カスピ海から吹く風／ヒメクモマツマキチョウとの出会い／宝石箱のようなシジミチョウの産地／怒るイラン人

第五章 雨と蛭と原生林・インド

時間を味方として／蛭の絨毯／タイガーヒルの食物／ただ一頭のテングアゲハの雌を採る／人工産卵に挑む
／テングアゲハ孵化の朝／成功を世界に打電

第六章 蒼きブータンの山河・ブータン

ヒマラヤの貴婦人／夢の国ブータンへ／霧の湧く絶壁／シボリアゲハ全滅／依怙地な付き添い役人シャモ／
ブータン賛歌／帰国、飼育成功

第七章 朧気の地・中国

春冷えの四川省／雲南航路／現代風シャングリラとヤクの味／蝶博士への贈物

第八章 彩りに満ちる島・スラウェシ

その島の蝶たち／悪天候で引き返す／墜落、火災、脱出／スパイ騒動／蝶の村、バンティムルング／少年モ
ンキーの忠誠／天然水洗便所

第九章 疫病満ちる半島・ラオス

絶壁にすむジャコウアゲハ／トラの糞／不気味な国境地帯／疫病の夜／病気快癒／眼鏡を失う

第十章 遠い国・オーストラリア

意外に遠かったオーストラリア／ウスバジャコウアゲハの産地に直行／病をおして産地に進撃／賭けには勝っ
たが……／最後の二時間で勝機を掴む

第十一章 驟雨と老酒・シンガポール

マレーコムラサキとの出会い／屋根のない夕食

解説 仲野徹

〇著者略歴 五十嵐邁(いがらし・すぐる)

1924 年、東京生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、大成建設株式会社に入社。同社取締役として 1985 年まで勤めた後、1988 年からは信越化学工業株式会社取締役、1990 年から 1996 年まで信越半導体株式会社代表取締役社長を務める。在職中の 1967 年より、日本鱗翅学会理事を務め、蝶の世界で大きな活躍をする。1983 年、蝶の幼生期の研究で京都大学理学部より博士号を取得。1993 年、日本蝶類学会会長を経て

1999 年から日本蝶類学会名誉会長を務める。サラリーマン生活が続けるかたわら、幼年時代から蝶の調査・研究の夢を失わなかった。そして、アマチュアリズムに立脚した日本の蝶研究を世界の一流へ高めたと評価されている。2008 年、逝去。

○書誌データ

書名:ヤマケイ文庫『アゲハ蝶の白地図 知られざる怪蝶の謎を追う』

著者:五十嵐邁

発売日:2025 年 10 月 17 日

定価:1540 円(本体価格 1400 円)

仕様:文庫判、424 ページ、1 色(一部4色)

<https://www.yamakei.co.jp/products/2825050190.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930 年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：綿

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>